# 原子力機構 （スポーク空洞，大電流電子源） 

日本原子力研究開発機構羽島良一，沢村 勝，西森信行

光•量子融合連携研究開発プログラム<br>「小型加速器による小型高輝度X線源とイメージング基盤技術開発」<br>第13回全体会議<br>2015／10／6，早稲田大学

## スポーク空洞開発の現状

## 金型計算

- 周波数を325MHzから650MHzに変更
- ABAQUSで厚さ方向を4分割した計算を実行中
O325MHz 3.5 mm （当初プラン）

O650MHz 2.0 mm 周波数を変え，
O650MHz $\quad 2.2 \mathrm{~mm}$
シート厚を変更

## 周波数とシート厚（表面）

 325 MHz シート匡 3.5 mm650 MHz シート厚 2.0 mm

$\pm$
650 MHz シート厚 2.2 mm

$\pm$


325 MHz シート厚 3.5 mm


650 MHz シート厚 2.2 mm


650 MHz シート厚 2.0 mm


650 MHz シート厚 2.4 mm


## 周波数とシート厚

- 周波数によるスケーリングで大きな差はなさそう
- シート厚の違いの差もあまり大きくなさそう
- 金型はスケーリングしたサイズで作成
- ニオブシートは厚めのもの（2．5mm）を使う
- テスト用のアルミ板 規格品 2.5 mm


## マシニングセンタ加工範囲



- 650 MHzl にしたことによりダイ以外はKEKのマシニングセンタの加工範囲内に入る
- ダイは分解する必要がある

今後の工程予定


- 金型加工 11月～12月
- プレス試験 2月～3月

大電流電子源，進捗状況

## 50 mA 級大電流光陰極の開発状況と予定

27年度計画
1．マルチアルカリ光陰極を電子銃に組み込み電子ビーム生成試験を行う


## 高電圧コンディショニング電極有



## 高電圧コンディショニング電極有



130kV位からアクティビティ有り。
18時間くらいで順調に230kVに到達。
コンディショニング時はHVとloading容器間の バルブを開き，ターボでも引いた。
230kV印加時のコッククロフト電源の電流値は電極無とほぼ同じ。

保持試験のためインターロックシステム を構築中。

## 大電流電子源，今後の予定

まとめ
$\checkmark$ 電極有で高電圧コンディショニングを行い，230kVIに到達した。

予定
＞200kVで長時間高電圧保持試験
$>\mathrm{Cs}_{3} \mathrm{Sb}$ カソードを用いたビーム生成試験

